



川東大了は こんな男です

ヘイトスピーチ？ 差別？

どんな批判も恐れず、日本のために戦い続けます

枚方から在日特権の撤廃を！

最近、ニュース等で話題になる「ヘイトスピーチ」、そしてそのヘイトスピーチをする団体として名指しされる「在日特権を許さない市民の会」（在特会）をご存知の方も少なくないと思います。

私は、その在特会の関西支部長や副会長に就任し、在日特権（在日韓国・朝鮮人が持つ特権）を廃止する為に市民運動をおこなって来ました。

現在は、在特会での役職を降りて一般会員となっていますが、在日特権の廃止を目指す志には何の変わりもなく、政治の場から在日特権の廃止を実現させる為に、枚方市議会議員選挙へ挑みます。

「お願い」しません。「約束」します！

さて、私は枚方市議選に挑むにあたり、「これは自分の為に立候補するのではない、枚方市民の為に立候補するのだ」との信念から、有権者の皆様に「お願いします」とは言わないつもりです。

「お願いします」は私が有権者に言う言葉ではなく、有権者が私に言う言葉だと思うからです。私が有権者にするのは、お願いではなく、お約束です。

固い信念で日本人の権利を取り戻す！

「嘘つきは泥棒の始まり」と言うことわざがありますが、最近では、「嘘つきは政治家の始まり」と言われています。政治家や、あるいは候補者の「公約」など、多くの有権者は信用していないと思います。

実際に、私の「公約」にしても、私が当選して枚方市議会に一議席を獲得しただけで実現出来るような簡単なものではありません。私の「公約」の実現の為に、私だけの努力では到底、達成出来ないでしょう。

しかし、私の後ろに有権者の固い信念と熱い支持があれば、必ず、正しい事は最後には勝ち残ります。正しくない事ばかりがまかり通っている世の中に、今一度、本

当に正しいことを実現しませんか？

善良な枚方市民の方、良識ある枚方市民の方、その偉業の道を私と共に歩みませんか？

数多くある在日特権により、日本国の国民である日本人の生きる権利が奪われています。私は朝鮮人相手に一歩も退く事なく戦い、そして、日本人の生きる権利を取り戻します。

私が枚方市民の有権者とする約束です。

最後に

在日韓国・朝鮮人は約52万人程居住しており、その多くは犯罪を犯しても強制送還されない特権＝特別永住資格を与えられております。その為に在日は安心して犯罪を犯します。

かつては指紋押捺制度がありましたが「犯罪者扱いするな、人権侵害だ」との声に負けて在日への指紋押捺は廃止されました。

このような事情が背景にあり、朝鮮人の犯罪は突出して多く、極めて危険な存在となっております。「朝鮮人は危険だ」と私は堂々と主張しています。そして、安心して暮らせる日本の為に「日本から追い出せ」とも主張しています。このような主張をすれば、すぐに「差別だ」と抗議を受け、人権問題や社会問題にされ、謝罪や辞任に追い込まれるような言論弾圧があり、声をあげる事が困難な状況ですが、私は堂々と主張して来ました。

その結果、私に残ったのは前科と莫大な賠償金です。しかし、何の後悔もありません。日本男児と生まれ、日本の為に、本当に虐げられている同胞の為に戦って来た勲章だと思っています。

五体が動く限り、愛する祖国のために朝鮮人と戦い、必ず、朝鮮人から日本人の生きる権利を取り戻します。

取り戻せ！国家の誇りと日本の暮らし！